

学校教育目標：旭を愛し、やさしく・かしこく・たくましく生きる児童の育成
～ みんなにとって、居心地のよい学校、笑顔あふれる学校、自慢したくなる学校にしよう！～

学校だより



あさひっ子



《祝 R7 開校150周年》

鳥栖市立旭小学校

TEL 0942-83-2806

令和7年1月8日

文責 校長 木村 嘉身

あけましておめでとうございます

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も、子どもたちが楽しみにしていた宿泊学習（5月）や運動会（10月）、修学旅行（11月）などの大きな行事を実施することができて良かったです。また、開校150周年に向けての取組も、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を中心に、のぼり旗作成やドローンによる人文字の撮影、寄付金の依頼など、計画的に進めているところです。

本年も変わらぬご厚情を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、3学期は子どもたちにとって大切な時期です。6年生にとっては、小学校のまとめ、小学校卒業・中学校進学に向けての準備の時期、1～5年生にとっては、学年のまとめ、新しい学年への準備の時期となります。子どもたちには、健康を第一に、一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

そこで、3学期の始業式では、冬休みの生活について振り返った後、自分の今年の目標を立て、それに向けて主体的に行動することの大切さについて話しました。2025年（令和7年）新しい年、お子様はそれぞれ、生活面、学習面等で自分の目標を立てることと思います。ご家庭でも、お子様の目標を確認し、頑張っている姿を、具体的にたくさん褒めていただければと思います。そうすることが、お子様の自信や意欲、これからの成長に繋がると信じています。



旭小学校 北校門前 門松作り



毎年、子どもたちの幸せを願い、旭小学校の校門の前に、手作りの門松を飾っていただいています。

12月末の学校便りでもお伝えしておりましたが、昨年も12月28日（土）、地域の皆様、おやじの会、PTAの皆様のご協力により、大きな門松を作っていただきました。門松は、幸福をもたらしてくれる神様に、迷わずに来ていただくための目印になるものと言われています。年末年始にご覧になられた地域の方もいらっしゃると思います。本日、校門の北側から登校してきた子どもたちは、この門松を見ることができたと思います。



とすにわか【5・6年】

11月27日（水）5時間目、体育館において、5・6年生を対象に「とすにわか」を行っていただきました。

方言を生かした笑いの文化を継承している「鳥栖にわか振興会」の皆様（寺崎様を含め8名）にお越しいただき披露していただきました。振興会の皆様には、「子どもたちに楽しく学校に来てほしい、子どもたちに様々な体験を味わわせたい」という思いで、「とすにわか」を実施していただきました。

寺崎様に、「とすにわか」についての説明をしていただいた後、振興会の皆様に「とすにわか」を披露していただきました。小話の「オチ」に気付くと、子どもたちからは「おー！」と感嘆の声が上がりました。その後、私や5・6年の担任が、「とすにわか」を披露したり、子どもたちが「とすにわか」に挑戦したりしました。最後に、振興会の皆様からマジックも披露していただきました。

佐賀新聞や西日本新聞、読売新聞から取材に来ていただき、取材を受けた子どもたちは、それぞれ自分の思いを嬉しそうに話していました。



とすにわかを紹介



二人の先生の挑戦



子どもたちの挑戦



マジックショー